THE NIKKAN KENSETSU TIMES
2026（令和8）年
10月13日（火曜日）
千葉版
昭和41年12月14日 第3種郵便物認可
第16264号
©日刊建設タイムズ社2026

60th anniversary

日刊建設タイムズ
www.k-times.com
発行所 日刊建設タイムズ社
〒260-0854 千葉市中央区長洲1-33-15 タイムズビル
電 話 043-225-5911 FAX 043-224-4136
Eメール info@k-times.com
日刊（土・日・祝日休刊）
購読料 1か月 8,640円（うち税 640円）
6か月51,840円（うち税3,840円）

千葉エンジニアリング株式会社
徹底現地主義
ASK ME！
〒261-0005 千葉市美浜区稲毛海岸 2-1-31
TEL.043-244-2311 ホームページはこちら→

きょうの紙面
公共 市川市／市川塩浜地区 DC立地の制限へ変更 2
公共 関東地整／神崎IC～大栄JCT11月から4車線 2
調査 経営計画策定率は6割超 外部支援者連携「プラス」 2
公告 浦安市／子ども子育て支援複合施設電気機械 6
入札 幕張メッセ電気設備工 フィデスJVが25億円 5
入札 東金浄水場監視制御設備を日立製作所15億円 5

関東地方整備局

8河川56か所を抽出
印旛管内の被災調査結果

関東地方整備局は「印旛土木事務所管内河川における被災状況調査報告書」を取りまとめ、9日、千葉県に手交した。令和8年台風第25号に伴う記録的な降雨により、印旛土木事務所管内の河川において堤防が崩れるなどの被害が多数発生していることを踏まえ、整備局から派遣されたTEC－FORCE（緊急災害対策派遣隊）被災状況調査班（河川）が10河川、左右岸合わせて約120㎞の被災状況を調査。このうち8河川56か所を対象とし、災害復旧事業に活用できるよう資料を作成した。

県に対する報告書手交式の様子

報告を行う工藤隊長

で行った報告書手交式には、TEC－FORCE被災状況調査班（河川）から工藤昭彦隊長（下館河川事務所建設監督官）と調査隊員7人、県から大塚生一・県土整備部災害・建設業担当部長と丸山正樹・県土整備部河川環境課長が出席した。

工藤隊長は、主な被災箇所として▽鹿島川左岸（佐倉市羽鳥）＝川表法崩れ、L420m、W0・5m、H1・75m▽鹿島川左岸（四街道市物井）＝川表法崩れ、L60m、W2m、H1・2m▽神崎川右岸（白井市木）＝川表法崩れ、L16m、W6m、H3m▽師戸川左岸（印西市角田）＝樋管周辺部の堤防空洞化に伴う陥没・護岸欠損、L7m、H1・6m、D3・5m――について説明を行った。

あいさつに立った大塚担当部長は、TEC－FORCEによる災害対応支援に謝意を表した上で、「受領した報告書は、今後の災害復旧事業の申請に向けた大変貴重な資料。1日も早い復旧につなげていきたい」と見据えた。

沢川の報告書を市原市長に手交

市原市に対しては同日、養老川水系沢川を対象とする被災状況調査報告書を手交した。

市役所における手交式には、TEC－FORCE被災状況調査班（河川）から塚原千明隊長（高崎河川国道事務所副所長）と調査隊員3人、市から小出譲治市長と北森努・土木部次長が出席。

調査においては、高崎河川国道事務所と利根川ダム統合管理事務所から4人を派遣し、田渕地先の沢川約500mについて状況を確認した。調査期間は、6日から4日。報告書は、災害復旧事業に活用できるようまとめた。河道内に土砂が堆積していることを踏まえ、復旧工法として掘削を提案した。

工藤隊長（前列左から2人目）、大塚担当部長（同3人目）、丸山課長（同4人目）および調査隊員

報告書を掲げる塚原隊長（右から3人目）と小出市長（同4人目）など

■被災箇所一覧

優先順位	河川名	調査距離	被災箇所
1	鹿島川 左岸	14.0km	7
	鹿島川 右岸	14.0km	10
	高崎川 左岸	6.1km	3
	高崎川 右岸	6.1km	2
	小計	40.2km	22
2	長門川 左岸	5.1km	2
	長門川 右岸	5.1km	1
	旧長門川左岸	2.9km	3
	旧長門川右岸	2.9km	1
	小計	16.0km	7
3	神崎川 左岸	14.6km	11
	神崎川 右岸	14.6km	8
	亀成川 左岸	7.2km	1
	亀成川 右岸	7.2km	0
	手繰川 左岸	2.8km	0
	手繰川 右岸	2.8km	0
	小竹川 右岸	0.7km	0
	師戸川 左岸	6.7km	2
	師戸川 右岸	6.7km	4
	小計	63.3km	26
概略調査	印旛捷水路	―	1
	合計	119.5km	56

江戸川河川 2025年度優良建設工事等事務所長表彰

湯浅建設に受賞の栄

さらなる技術向上を
武藤健事務所長あいさつ

武藤事務所長(左)から賞状を受け取る湯浅代表取締役

受賞された皆さまは、優れた技術力と品質の確保はもとより、安全管理、工程管理、地域住民への配慮、創意工夫に富んだ取り組みなど、多くの面で優れた成果を挙げた。現場の第一線で積み重ねてきた努力、熱意、責任感に対し、深く敬意を表する。

建設業界を取り巻く環境は、安大きな変革期を迎えている。少子高齢化による担い手不足、資材価格や労務費の上昇、インフラの老朽化への対応に加え、近年は自然災害の激甚化・頻発化により、防災・減災、安国土強靭化への取り組みの重要性が一層高まっている。

建設業は社会資本を整備するだけでなく、災害発生時には地域を守り、復旧・復興を支える極めて重要な産業。その役割を次世代へ確実につないでいくためには、若い人材に選ばれる魅力ある産業へと発展させていくことが必要。今回の受賞を励みとして、今後もさらなる技術力の向上と品質確保に努めるとともに、建設業界全体の発展や担い手の育成、そして地域の安全・安心を支える社会資本整備の推進に尽力するようお願い申し上げる。

江戸川河川事務所は7月23日、2025年度優良工事等事務所表彰式を事務所総合管理棟1階会議室で開催。「R6綾瀬川左岸大曽根地先堤防護岸整備工事」を施工した湯浅建設が優良工事・優秀工事技術者の栄に浴した。

あいさつに立った武藤健事務所長は「建設産業を取り巻く環境は、少子高齢化に伴う担い手不足、急激な資材価格等の高騰、インフラの老朽化に伴う対応など厳しい状況が続いている」との見解を示した上で、「受賞された皆さまは、優れた技術力と品質の確保はもとより、多くの面で優れた成果を挙げた」と述べ、建設産業全体の発展、担い手の育成、地域の安全・安心を支える社会資本整備の推進への尽力を求めた。

表彰件数・人数は、優良工事3件、優秀工事技術者3人、優良業務1件、優秀技術者1人、優良下請け企業1件、優秀下請け技術者1人、難工事功労企業7件、若手・女性技術者奨励賞3人、建設産業担い手確保・育成貢献工事3件、建設産業担い手確保・育成貢献技術者3人、関東インフラDX大賞1件、「河川工事（河川・海岸・ダム・砂防）〝ナマ〟現場写真コンテスト」優秀作品5件だった。

R6綾瀬川左岸大曽根地先堤防護岸整備工事　㈱湯浅建設

【工事場所】埼玉県八潮市大曽根地先
【工期】2025年4月1日～26年2月27日
【工事概要】施工延長約430m。河川土工約1600㎥、法覆護岸工約310m、擁壁護岸工約310m、植生工260㎡、アスファルト舗装約360m、側溝工138m、付帯道路工、仮設工
【表彰理由】綾瀬川と物流センターの間にある狭あいな現場であり、かつ車両による搬出入箇所が1か所に限られる厳しい施工条件だった。そこで、自立型間知ブロックを採用し、従来工法では困難な2～3段の先行施工を可能とすることで、資材運搬車両の往来や重機退避回数を大幅に削減。騒音・振動の影響軽減および工程の効率化と工期短縮を実現した。また、コンクリート打ち継ぎ面の減少による品質の向上を図った。さらに、ペイロードメータを活用した積載重量のリアルタイム管理により、過積載防止と積載調整作業の省力化を図り、安全かつ効率的な運搬管理を行うなど、生産性向上に大きく貢献した。

完成

YUASA CONSTRUCTION
千葉ロッテマリーンズオフィシャルスポンサー
株式会社湯浅建設
© C.L.M.
代表取締役 湯浅 健司
〒270-2253 松戸市日暮 5-25
TEL：047-387-2281 FAX：047-387-2285
URL https://www.yuasakensetu.com

OK式油水分離槽 自然にやさしいきれいな水にします

既製品 4連式 底付

既製品 田の字 底付

受注生産品 大型タイプ
■ より安全につかいやすく
施工業者様、メンテナンス業者様の使いやすさと環境にこだわりました。
■ 油の浮上効果が高い
槽内の滞留距離を長くとったため、油の浮上を効果的に得る事が出来ます。
■ 豊富な実績
工期の大幅短縮、経済性、耐久性により、すでに数千ヶ所のガソリンスタンド、駐車場、工場などで実績があり高い信頼を得ています。
Oike Quality is all. 株式会社オーイケ
URL【オーイケ】で検索 E-mail info@ooike.net
本 社 TEL.0263-98-2238 岐阜営業所 TEL.0574-60-1586
群馬営業所 TEL.027-380-1780 東京営業所 TEL.03-5657-1281